

様式1

領収書等添付一覧表

(令和5(2023)年度5月～3月分)

会派名 日本共産党柏崎市議員団

支出項目	研修費			
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額	支払先
2 - 1	R5.7.24	7/22～24自治体学校参加	184,040円	勤労者レクリエーション協会ほか
2 - 2	R5.11.17	「ノーモア原発公害市民連合連絡会」発足記念シンポジウム参加	18,900円	JR東日本
2 - 3		以下空欄		
2 - 4				
2 - 5				
2 - 6				
2 - 7				
2 - 8				
2 - 9				
2 - 10				
2 - 11				
2 - 12				
2 - 13				
2 - 14				
2 - 15				
計			202,940円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

会派長	経理責任者
	

政務活動費

令和5年8月7日

会派名 日本共産党柏崎市議員団

氏名 五位野和夫

政務活動経費請求書（精算書）

政務活動経費について、次の通り請求（精算）します。

月 日	項 目	金 額	備 考
6月26日	出席者負担金 会費	14,000	五位野：自治体学校参加費
6月26日	旅費	20,020	五位野：宿泊費（後楽ホテル2泊朝食付）
6月29日	出席者負担金 会費	14,000	持田：自治体学校参加費
6月29日	旅費	19,800	持田：宿泊費（アークホテル岡山2泊朝食付）
7月10日	旅費	87,860	J R 柏崎市～岡山市往復（43,930円×2人分）
7月22日	交通費	1,900	岡山駅から全体会会場までの移動（タクシー代、2人乗合せ）
7月23日	出席者負担金 会費	3,000	持田：現地分科会参加費（現地視察代）
7月23日	出席者負担金 会費	1,900	持田：現地分科会参加費（バス代）
7月24日	旅費	280	岡山駅～小橋 路面電車往復2人分（140円×2）
7月24日	旅費	280	小橋～岡山駅 路面電車往復2人分（140円×2）
7月24日	旅費	9,000	旅費雑費（1,500円×3日分）×2人
7月24日	旅費	12,000	夕食代（3,000円×2日分）×2人
合 計		184,040	
概算（仮）払額			
差引	（請求額）	184,040	
	（返金額）		
（備考） 令和5年7月22日～7月24日 第65回自治体学校IN岡山の研修会に参加 参加者：持田繁義、五位野和夫			

支 出 項 目	☐ 1 調査研究費 ☒ 2 研修費 ☐ 3 広報費 ☐ 4 広聴費 ☐ 5 要請・陳情活動費 ☐ 6 会議費 ☐ 7 資料作成 ☐ 8 資料購入費 ☐ 9 人件費 ☐ 10 事務所	整理番号 （項目別）
		2 - 1

領 収 書 等 整 理 票

会派名 日本共産党柏崎市議員団

整理番号 2 - 1 - 1

支 出 項 目				※該当する項目に○印
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	
9 人件費	10 事務所費			

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

五位野 和夫

様

受付No. 0083

発行日 2023年6月26日

金額 ￥ 14,000 (税込)

但 参加代金として

有限会社 勤労者レクリエーション協会

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-4-4

TEL : 03-3984-0436

FAX : 03-3984-0437

担当: [REDACTED]



領 収 証

五位野 和夫

様

受付No. 0083

発行日 2023年6月26日

金額 ￥ 20,020 (税込)

但 宿泊代金として

有限会社 勤労者レクリエーション協会

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-4-4

TEL : 03-3984-0436

FAX : 03-3984-0437

担当: [REDACTED]



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

会派名 日本共産党柏崎市議員団

整理番号 2 - 1 - 2

支 出 項 目		※該当する項目に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費		

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

柏崎市議会議員

持田繁義

様

受付No. 1079

発行日 2023年6月29日

金額 ￥ 14,000 (税込)

但 参加代金として

有限会社 勤労者レクリエーション協会

〒170-0013

東京都豊島区東池袋4-40-1

TEL : 03-3984-0401

FAX : 03-3984-0407

担当 :



領 収 証

柏崎市議会議員

持田繁義

様

受付No. 1079

発行日 2023年6月29日

金額 ￥ 19,800 (税込)

但 宿泊代金として

有限会社 勤労者レクリエーション協会

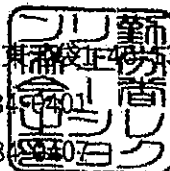
〒170-0013

東京都豊島区東池袋4-40-1

TEL : 03-3984-0401

FAX : 03-3984-0407

担当 :



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

会派名 日本共産党柏崎市議員団

整理番号 2 - 1 - 3

支 出 項 目		※該当する項目に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費		

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

持田繁義様

金 3,000 円

但し、「第 65 回自治体学校 in 岡山 現地分科会」(7 月 23 日) オプション企画現地視察代
金として、上記正に領収いたしました。

2023 年 7 月 23 日

第 65 回自治体学校 in 岡山実行委

現地実行委員長 磯部

〒700-0905

岡山市北区春日町 4-26

岡山県自治体問題研究所内

TEL・FAX 086-232-4555

領 収 書 等 整 理 票

会派名 日本共産党柏崎市議員団

整理番号 2 - 1 - 4

支 出 項 目			※該当する項目に○印
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費		
領収書及び料金内訳明細書等貼付欄			

領 収 証

持田繁義様

金 1,900 円

但し、「第65回自治体学校 in 岡山 現地分科会」参加費（7月23日）として、上記正に領収いたしました。

2023年7月 23 日

第65回自治体学校 in 岡山実行委

現地実行委員長 磯部

〒700-0905

岡山市北区春日町4-26

岡山県自治体問題研究所内

TEL・FAX 086-232-4555

領 収 書 等 整 理 票

会派名 日本共産党柏崎市議員団

整理番号 2 - 1 - 5

支 出 項 目				※該当する項目に○印
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	
9 人件費	10 事務所費			
領収書及び料金内訳明細書等貼付欄				

領 収 証

2023年 7月10日

持田 繁義 様

金43,930円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

柏崎801 No.000008

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

領 収 証

2023年 7月10日

五位野 和夫 様

金43,930円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

柏崎801 No.000009

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

会派名 日本共産党柏崎市議員団

整理番号 2 - 1 - 6

支 出 項 目		※該当する項目に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費		

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号 005401号
2023年07月22日

乗車料金
¥ 1 9 0 0 円

立替金 円

上記の通り正に領収致しました。

岡南交通(株)

岡山市南区福吉町31-2
TEL 086-728-5610

、(税率10%)
T7260001010164

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

岡山電軌東山線(岡山駅前行)の運行表

电视剧

[illegible]

140円区間 大人140円 小人70円

会派長
持田 繁義 

政務活動費

令和 5 年 8 月 7 日

会派名 日本共産党柏崎市議員団

氏 名 持田 繁義 五位野 和夫 

政務活動報告書

次のとおり報告します。

種 別	☐ 調査研究 (☐ 行政視察) ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議	
期 間	令和5年7月22日(土) ~ 令和5年7月24日(月)	
1	日 時	7月22日(土) 13:00 ~ 7月24日(月) 11:50
	用 務	第65回 自治体学校IN岡山に参加
	出張先 又は会場	岡山県岡山市岡山市立市民文化ホール他
	調査又は 要望項目 (※)	
	対応者 (※)	
	報 告	別紙のとおり
2	日 時	~
	用 務	
	出張先 又は会場	
	調査又は 要望項目 (※)	
	対応者 (※)	
	報 告	別紙のとおり

※研修会、各種会議は記入不要

出張報告

報告日 令和 5 年 8 月 7 日

会 派 名	日本共産党柏崎市議員団
報告者氏名	持田 繁義、 五位野 和夫
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	第 6 5 回 自治体学校 IN 岡山に参加
日 時	令和 5 年 7 月 2 2 日（土） ～ 令和 5 年 7 月 2 4 日（月）
場 所 （ 会 場 ）	岡山県岡山市岡山市立市民文化ホール他
概 要	自治体の議員や職員、学者・研究者、住民の方々が全国から集い、地方自治の拡充や住民のくらしの向上についての政策や経験を、学習・研究・交流を進め深める研修会。   7 月 22 日（土）全体会 記念講演①「地方自治と地域 この 1 年から考える」 ■■■■・奈良女子大学教授 記念講演②「地域の主権を大切に、ミュニシバリズムの広がり」他 岸本聡子・杉並区長 7 月 23 日（日） 1 2 分科会と 2 つ現地分科会 7 月 24 日（月）全体会 特別講演①「暮らしから考える自治体行政のデジタル化」 ■■■■・龍谷大学教授 特別講演②「地方自治体が直面する課題への挑戦（現場から）」 太田昇・岡山県真庭市長

所 感 等	【持田繁義】 7 月 2 3 日・現地分科会「水島でカーボンニュートラルの取り組みを学ぶ」会場：水島愛あいサロン 世界的な気候危機への対応は、産業、運輸、民生部門等で「温室効果ガス排出抑制」が喫緊の課題です。大企業コンビナートが操業する倉敷市・水島において学ぶ機会となり、以下のような講義が行われました。 ①現地報告として「STOP 温暖化くらしき実行委員会」 ②「市民と行政の共同の取り組み」として川崎市の事例報告 ③企業と行政が連携した産業部門の取り組み、「水島コンビナートの 2 0 5 0 年カーボンニュートラル実現に向けて「ネットワーク会議」からの報告 ④産業技術総合研究所の■■■■氏の「地域の脱炭素転換と地域発展自治体の政策」とした講演が行われました。 脱炭素は、気候危機回避とともに、地域に大きなメリットとなる脱炭素社会へのまちづくりである。住民、地域の様々な主体が議論してまちの将来を決めていくこと。再エネへの転換によって、2 0 5 0 年に CO2 1 0 0 %削減は技術的には可能であること。要は政治の在り方そのものと確信しました。 【五位野和夫】 7 月 2 3 日・分科会「住民とともに進める持続可能な地域づくり」会場：岡山市勤労者福祉センター 「地域をどうすれば持続可能なまちになるのか」を都市・農村の事例紹介と交流をし、その中の島根県邑智郡美郷町の報告についての所感を述べます。 美郷町議の中原保彦さんは人口 4 3 5 5 人の町が一年で 3・4 1 %（1 4 8 人）も人口減となったことを受け、町長は「若者を中心にした人の流れをつくるための対策」を推進。お試し移住、サテライトオフィス、手厚い子育て支援、若者定住のための住宅建設などが進められました。 しかし中原さんは、他の地域との人材の引っ張り合いでない方法で人口を増やすために、Uターン者の促進・活用で人口減対策に取り組んでいます。 特に衰退傾向が著しい農業・林業、商店、建設業など地域産業の振興と結合した人口増加対策が必要。若者の移住・定住には限界がある。ならばかつてこの町に住んでいた人に、Uターンしてもらい、力を貸してもらいたい。そのために、住宅改修や帰農塾、大型農機具の貸し出しなどの支援が必要だと、町長と討論し住民とも予算要求活動に取り組んでいるそうです。 柏崎市においても若者の定住対策とともに、地元出身でUターンされる定年退職者の方は地域の事も分かる。そしてすぐに地域に溶け込むことができ、大きな力になる可能性があることを自分の町内の事と重ね合わせ改めて実感しました。 帰って来ようと思える柏崎づくりが求められると思います。
--------------	--

様式3

会派長	経理責任者
持田 繁義 	五位野 和夫 

政務活動費

令和5年7月3日

会派名 日本共産党柏崎市議員団

氏 名 持田 繁義 五位野 和夫 

政務活動申出書

次のとおり申出します。

種 別	■調査研究 (□行政視察) ☒ 研修会 □要請・陳情 □各種会議	
期 間	令和5年7月22日(土) ～ 令和5年7月24日(月)	
用 務	1	第65回 自治体学校IN岡山に参加
	2	
	3	
	4	
出張先 又は会場	1	岡山県岡山市岡山市立市民文化ホール他
	2	
	3	
	4	
調査又は 要望項目 ※研修会、各種会 議は記入不要	1	
	2	
	3	
	4	
そ の 他		

添付書類

- ・市外への出張は、行程表等
- ・研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等（写し）

様式3-2

1 主な行程

月 日	発着地	視察地	用務	宿泊地	備考
7/22	柏崎市 発 岡山市 着	岡山市	第65回 自治体 学校IN岡山に参加	岡山市	
7/23		岡山市	第65回 自治体 学校IN岡山に参加	岡山市	
7/24	岡山市 発 柏崎市 着	岡山市	第65回 自治体 学校IN岡山に参加		
/					
/					
/					

☐前泊必要 (理由:

☐後泊必要 (理由:

2 必要経費

- ・ 参加費 14,000 円× 2 人
- ・ 交通費 39,540 円× 2 人
- ・ 宿泊費 20,000 円× 2 人

会派長	経理責任者
	

政務活動費

令和5年12月1日

会派名 日本共産党柏崎市議員団

氏名 持田 繁義 

政務活動経費請求書（精算書）

政務活動経費について、次の通り請求（精算）します。

月 日	項 目	金 額	備 考
11月14日	旅費	17,400	J R 北条駅～東京往復（17,400円）
11月17日	旅費	1,500	旅費雑費（1,500円×1日分）×1人
合 計		18,900	
概算（仮）払額			
差引	（請求額）	18,900	
	（返金額）		
（備考） 11月17日「ノーモア原発公害市民連絡会」発足記念シンポジウム参加 参加議員 持田繁義			

支 出 項 目	☐ 1 調査研究費 ☒ 2 研修費 ☐ 3 広報費 ☐ 4 広聴費 ☐ 5 要請・陳情活動費 ☐ 6 会議費 ☐ 7 資料作成 ☐ 8 資料購入費 ☐ 9 人件費 ☐ 10 事務所	整理番号 （項目別）
		2 - 2

領 収 書 等 整 理 票

会派名 日本共産党柏崎市議員団

整理番号 2 - 4 2

支 出 項 目		※該当する項目に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費		

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

持田繁義

上

様

2023年11月14日

金17,400円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印 紙 税 印 告 納
付 に つ き 成 金
税 務 署 庫 認 済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

柏崎801 No.000018

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

会派長
持田 繁義 

政務活動費

令和 5年12月 1日

会派名 日本共産党柏崎市議員団

氏 名 持田 繁義 

政務活動報告書

次のとおり報告します。

種 別	☐ 調査研究 (☐ 行政視察) ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議		
期 間	令和5年11月17日 (金) ～ 令和5年11月17日 (金)		
1	日 時	11月17日 (金) 13:30 ～ 11月17日 (金) 17:00	
	用 務	「ノーモア原発公害市民連絡会」発足記念シンポジウム参加	
	出張先 又は会場	衆議院第一議員会館 国際会議室	
	調査又は 要望項目 (※)		
	対応者 (※)		
	報 告	別紙のとおり	
2	日 時	～	
	用 務		
	出張先 又は会場		
	調査又は 要望項目 (※)		
	対応者 (※)		
	報 告	別紙のとおり	

※研修会、各種会議は記入不要

出張報告

報告日 令和 5 年 1 2 月 1 日

会 派 名	日本共産党柏崎市議員団
報告者氏名	持田 繁義
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	「ノーモア原発公害市民連絡会」発足記念シンポジウム参加
日 時	令和5年11月17日（金） 13:30 ～ 令和5年11月17日（金）17:00
場 所 （会 場）	衆議院第一議員会館 国際会議室
概 要	【記念シンポジウム】は三部構成による 【第1部】 ■■■■さん 『福島原発事故と国の責任 6. 17 最高裁判決をたどす』 ・因果関係を否定する理由付けが理由になっていない ・規制権限があるかという争点について判断しない ・憲法 76 条 3 項——すべて裁判官は、良心に従い独立して職権を行い、この憲法および法律にのみ拘束される ○6・17 最高裁判決は原発推進政治を付度する憲法の原則をねじまげた判決 【第2部】現場からの報告 ・関西訴訟を続ける ■■■■さん - 福島から大阪に避難二重生活の中で国と東電の責任を追及 ・いわき市民訴訟の原告団長の ■■■■さん - 当初、国と東電は「法的な責任はない」と謝罪なし。被害をも軽視 ・津島訴訟で奮闘する ■■■■さん - 住民との助け合い「結」を持って暮らしてきた。地域性と自然豊かな恵・環境を根本から奪った、原発事故の責任と賠償は当然 【第3部】「原発ゼロか原発回帰か」、ドイツと日本の違いとした特別講演 ・■■■■さん（ドイツ倫理委員会） ドイツの反原発の動きが長い歴史がある。原発と核兵器の関係。ソ連とアメリカの戦争になったとき、核兵器の心配があった。原発と核兵器は違うものであるが、核兵器を作るにはノウハウが必要なので、原発を推進すると、核兵器を作るという心配もあった。リスクを考えなければならないという文化がドイツでは強い。チェルノブイリ事故に続き、福島事故、技術が高い国であるはずの日本でも事故が起きたということが大きなインパクト。エネルギーコミュニ

ティとして、地方でどういうエネルギーが必要かということを考えながら、決めてきた。

日本の国民はもっと原発事故に向き合って、自覚的な運動を期待する。



所 感 等

福島第一原発事故から 12 年余りを経過したが、今なお 8 万人に及ぶ人たちが故郷に戻れない事態が続き苦難の避難生活を強いられている。地元の産業は事故前に戻っておらず、漁業においては 10 パーセント台の復興レベルである。事故収束対策について、国と東電は廃炉完了に「30～40 年後」としているが、それを信じる被災者は一人もいないだろう。

岸田文雄政権は昨年夏、「原発回帰」宣言を行い、関連法の大改悪、老朽原発の 60 年運転、新增設にまで乗り出した。「関係者の理解なしにいかなる処分も行わない」との約束を破って、汚染水（アルプス処理水）の海洋放出を 8 月 24 日強行した。

岸田政権が「原発推進」に回帰したのは、福島原発事故について、「国の責任を否定」した昨年 6 月 17 日の最高裁不当判決によることが大きい。国民の生命と財産は、原発大事故の危険にさらされている。この「原発推進」路線は、日本列島に豊富にある再生可能エネルギー開発を大きく抑制し、まさに日本の未来は託せない。

ドイツは、旧ソ連の原発事故（1986 年）と福島第一原発事故（2011 年）のインパクトに学んで、「原発ゼロ」「再生可能エネルギー」の道を二段押しで歩み、今年 5 月 15 日、最後の原発 3 基を停止、「原発ゼロ」を実現した。日本は、自国で原発事故を起こしながら「原発回帰」となっている。ドイツの「原発ゼロ」と日本の「原発回帰」のこの対比は、原発大事故に向き合うか、無視するかの差にある。

昨年、最高裁判所が福島第一原発事故に「国の責任を否定」した「6・17 不当判決」は、憲法と法に従って見直すこと。第三者法廷に係属する「いわき市民訴訟」はじめとして、これに続く集団訴訟に対する公正な判決が求められる。

様式 3

会派長	経理責任者
持田 繁義	五位野 和夫

政務活動費

令和5年11月10日

会派名 日本共産党柏崎市議員団

氏 名 持田 繁義

政務活動申出書

次のとおり申出します。

種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議	
期 間	令和5年11月17日（金） ～ 令和5年11月17日（金）	
用 務	1	「ノーモア原発公害市民連絡会」発足記念シンポジウム 参加
	2	
	3	
出張先 又は会場	1	衆議院第一議員会館 国際会議室
	2	
	3	
	4	
調査又は 要望項目	1	
	2	
	3	
	4	
※研修会、各種会議は記入不要		
そ の 他		

- 添付書類
- ・ 市外へ出張は、行程表等
 - ・ 研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等（写し）

様式3-2

1 主な行程

月 日	発着地	視察地	用務	宿泊地	備考
11/17	柏崎市 発 東京 着	東京	「ノーモア原発公害市民連絡会」発足記念シンポジウム参加	無し	
11/17	東京 発 柏崎市 着				
/					
/					
/					
/					

☐前泊必要 (理由:

☐後泊必要 (理由:

2 必要経費

・ 交通費 18,000 円× 1 人
 ・ 円× 人
 ・